

進路だより

令和 元年12月23日
大阪府立守口支援学校
進路指導部 発行第2号
元 学 内 第208号

後期体験実習



高等部2年生は、10月28日（月）～11月8日（金）までの2週間、後期体験実習期間に合わせて企業や守口市・門真市などの福祉事業所にて体験実習に取り組みました。

Aコース（生活自立コース）の生徒は、全員が事業所等で初めての体験実習を行いました。和（なごみ）、アルジス、ジェイ・エス・ステージ、桜の園、グレース工房、いま、オールケア大日、支援センターさくらへ行ってきました。実習先では、もぎり作業や箱の組み立て、ペットのエサ作りなど様々な作業に取り組みました。初めての体験実習で緊張した様子でしたが、指導員さんや利用者の方々に優しく丁寧に教えていただきながら実習を行うことができました。2日間の実習を行った京阪百貨店では、スマイルトレーニングや箱作成作業のほか、販売員インタビューや売り場見学などで「働く」ということについて身近に体験することができました。



Bコース（職業自立コース）の生徒は企業での体験実習を2週間行いました。実習先はワン・エー(株)、京阪百貨店、ファミリーマート、エルアイ武田、ニトリです。前期に体験実習を経験していることもあり、全員意識を高く持ちしっかりと取り組むことができました。

後期体験実習を通して、大きな自信と次への意欲につなげることができる貴重な経験を積むことができました。



高等部1年施設見学

高等部1年生は、後期実習期間中の10月29日（火）に交野自立センター・パナソニック交野株式会社の見学に行ってきました。2班に分かれて、福祉事業所の活動及び企業（特例子会社）の様子を見学することで、卒業後の社会参加のイメージを掴み、今後の学習に結びつけることを目的として今回の活動を実施しました。交野自立センターでは、パンの製造、軽作業、入所施設等、係の方の説明を聞きながら見学しました。パナソニック交野株式会社では、様々な部門に分かれて仕事している様子を見学しました。係の方の説明を聞きながら必死にメモを取っていまし

た。見学後の質疑応答も活発に行われ、生徒たちの進路に対する関心の高さと、真剣な思いを感じ取ることができました。今回の学習でひとり一人が様々なことを感じたことと思います。とても有意義な時間を過ごすことができました。



秋の同窓会

11月10日（日）、秋の同窓会が行われました。当日は好天に恵まれ、同窓生・保護者合わせて110名を超える参加がありました。会長のあいさつの後、みんなの近況を聞きながら、お弁当やお菓子を食べました。



食事のあとは、「ストラックアウト」「ボウリング」「カローリング」の3つのゲームコーナーを設けて楽しみました。誰の顔も笑顔いっぱい！それぞれのコーナーでみんな夢中になって盛り上がっていました。そのあとは、恒例のビンゴゲーム。役員さんから数字が発表されるたびにワクワクドキドキ、あちこちから歓声があがりました。たくさんの笑い声や、リーチ・ビンゴになったときの喜びの音が広がりました。ビンゴで景品が当たった人は満面の笑顔で喜んでいました。

最後は全員で写真撮影をし、次回の再会を約束して閉会となりました。



秋のPTA施設見学会

○11月27日（水）

大阪市北区本庄東にある『自立訓練アンサーベーシックキャンパス』に見学に行きました。代表の末岡様より、卒業後の障がい特性に合わせた進路選択についての講義に近いお話があり、自身の子育てや具体的な事例を交えながら丁寧にお話いただきました。就労に向けて、身につけておきたいこととして、「可愛がられること」と仰っていたことが印象的でした。



利用者の方々は、5名程度で自分の知っている昔話を発表し合い、それぞれが登場人物になって朗読するという取り組みをされていました。

～保護者アンケート～より

「生活訓練」というまだ少ない支援の事業所見学を卒業前に見学できて大変貴重でした。「移行支援」か「B型」の選択でスタートして決めかねていたときに、進路先のように「生活訓練」に重きを置いて移行支援されている事業所を知ることになりそれまで決められなかった進路でしたが、どうしたら進路先に通うことができるか家族一丸となって取り組んできました。卒後の進路は決まり、安心していましたが、今回参加したのは先の進路につながる事業所になり得る情報として知っておきたいと思い参加しました。

○11月19日（火）

8月に開所された就労継続B型事業所「グリーンファーム守口」に行ってきました。室内での水耕栽培で、天候に左右されることなく、バジルやレタス、ニンニクなど新鮮な野菜の栽培を行っています。週に1度販売も行っています。担当の渡部様より、障がい者の社会参加についてのお話があり、環境を整えば、障がいのあるなしに関わらず、就労できるなどの内容でした。実際にレタスの種をピンセットで入れたり、スポンジを型にはめ込んだり体験もさせていただきました。見学後は、珍しい「にんにくスプラウト」やレタスを試食させていただきました。利用者の方々は、野菜の成長を見ながら作業することが分かり易いと言っているそうです。

グリーンファーム守口



水耕栽培

～保護者アンケート～より

今年から施設見学に参加しましたが、水耕栽培をされている事業所はとても良かったです。暑さ、寒さ、虫に左右されない環境というのも子どもにとって良いと思いました。それと、こちらでは隣の老人ホームと連携して一般就労されているということで将来にも希望が持てると感じました。



新規事業所紹介

- グリーンファーム守口** 就労継続支援B型 守口市佐太中町6-17-34
水耕栽培、販売、軽作業等
- ワークスあさがお** 就労継続支援B型・生活介護 門真市幸福町20-3ヤセイ幸福ビル2階
パソコンを使った仕事、印刷物作成、事務作業等
- 北河内就労支援センター** 就労継続支援B型 門真市野里8-1東ビル3F
PC入力、広告制作、内職作業等

中学部3年生 進路活動

■寝屋川支援学校 交流会

10月11日（金）に寝屋川支援学校で中3同士の交流会がありました。寝屋川支援のたくさんの友だちにみんな緊張した様子でしたが、一緒にフラフープくぐりやレクレーションのリレーをして少しずつ仲良くなり、笑顔あふれる交流会になりました

■守口支援学校高等部 授業見学・体験会

10月18日（金）に本校高等部1年生の授業見学と体験をしました。前半は授業見学、その後クリーニング、木工、縫製などのグループに分かれて高等部の授業を体験しました。体験では作業の手順や心構えを先輩から丁寧に教えてもらう中で、高等部への進学について具体的に考える良いきっかけになりました。感想では「難しいけどいい経験になった」「先輩が優しく教えてくれた」などの声がありました。

夏季教職員施設見学

長期休業（夏休み）を活用して、教員の専門性の向上とキャリア教育の視点を学ぶため、放課後等デイサービスや就労継続支援A、B型、就労移行支援、生活介護の事業所を見学に行きました。小学部5名、中学部8名、高等部10名の教員が参加しました。放課後等デイサービスぷりずむでは、「たくさんの子どもたちが通うデイサービスで取り組まれている支援内容が校内で関わる参考になった。」地域生活総合支援センターいまでは、「生活介護での取り組みだけでなく、ショートステイなど各施設も見学させていただき、施設の取り組みが良く分かった。」クローバーでは、「就労移行支援の役割をお話していただき、生徒たちの進路を考える上で勉強になった。」マンボウと海がめでは、「B型事業所の支援方法や先を見据えた支援に良さを感じた。」Self-Aレーヴでは、「自ら考えて行動することを教えられているので学校でもそのように取り組みたい」などの感想がありました。教員が事業所の方とお話することで児童生徒に必要な支援について、違う視点から考える良い研修になりました。

もりもりギフト2019ふゆ

「もりもりギフト」は守口市内の福祉事業所で働く利用者さんが、心をこめて制作している品々です。保護者の方にはたくさんのご注文をいただきました。注文数80個、約92,200円の購入をしていただきました。ご協力ありがとうございました。